

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月15日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉田 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	819	11.1	273	29.6	273	35.1	172	14.9
2019年3月期	737	24.7	211	43.8	202	36.7	150	37.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	34.12	33.71	16.0	22.8	33.4
2019年3月期	30.84	29.50	16.7	20.1	28.6

(注) 当社は、2018年6月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2019年3月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	1,189	1,047	88.1	208.84
2019年3月期	1,211	1,103	91.1	219.14

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,047百万円 2019年3月期 1,103百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	217	6	△229	964
2019年3月期	135	△59	257	970

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00	40	25.9	4.3
2020年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	35	20.5	3.3
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	8.00	8.00		19.7	

(注) 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 3円00銭

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	340	9.2	46	△27.5	46	△27.4	35	△28.7	6.92
通期	840	2.5	280	2.3	280	2.5	205	18.8	40.53

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	5,138,000株	2019年3月期	5,036,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	120,028株	2019年3月期	28株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	5,058,395株	2019年3月期	4,871,377株

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 財務諸表及び主な注記(5) 財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。

実際の業績等は内外の状況変化により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(損益計算書関係)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業の働き方改革による雇用・所得環境の改善、オリンピック関連工事の増加、ラグビーワールドカップの日本開催、消費税増税前の駆け込み需要などにより、内需は堅調に推移していました。しかし、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行すると状況は一変し、海外からの観光客の激減、国内イベントの中止、外出自粛などの影響により個人消費が減少、企業収益の悪化が避けられない状況となりました。

当社が属する音声合成市場は、電話自動応答システム、カーナビゲーション、防災行政無線などの情報伝達手段としての利用用途から、AI(人工知能)の品質向上により、コミュニケーションロボット、車載器の対話システムなど、対話型の利用用途へと変化し、更に、海外からの観光客の増加、東京オリンピック開催に向け、外国人への情報提供手段としての利用用途として音声合成市場は順調に推移してきましたが、昨今の働き方改革、新型コロナウイルス感染症の拡大によるテレワーク、在宅学習の推進等により、eラーニング用途での利用が拡大している状況にあります。

音声合成市場は、様々な企業参入により競争が激化しており、より品質の高い技術を投入するために研究開発費、製品開発費が増加する傾向にあります。当社は今後更なる成長機会と捉え、「エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます」の企業理念のもと、積極的かつ堅実に事業を進めてまいります。

当事業年度の音声合成事業は、コンシューマー向け製品の売上が90,339千円(前年同期比13.5%減)と苦戦しましたが、法人向け製品の売上が499,337千円(同17.8%増)、法人向けサービスの売上が229,450千円(同9.9%増)と順調に推移した結果、当事業年度の売上高は819,128千円(同11.1%増)、営業利益は273,659千円(同29.6%増)、経常利益は273,236千円(同35.1%増)、当期純利益は172,578千円(同14.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末と比較して22,828千円減少し、1,189,149千円となりました。これは主に、売掛金が29,020千円増加したものの、投資有価証券が45,134千円減少したことによるものです。

当事業年度末の負債合計は、前事業年度末と比較して32,820千円増加し、141,214千円となりました。これは主に、未払法人税等が19,219千円、買掛金が10,050千円増加したことによるものです。

当事業年度末の純資産合計は、前事業年度末と比較して55,649千円減少し、1,047,934千円となりました。これは主に、自己株式が199,680千円増加したこと、及び、当期純利益の計上により利益剰余金が172,578千円増加、配当金の支払いにより利益剰余金が40,287千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して5,595千円減少し、964,515千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、217,309千円(前事業年度は135,800千円の収入)となりました。これは主に、売上債権の増加額29,019千円、法人税等の支払額56,114千円等があったものの、投資有価証券評価損45,134千円、売上増加に伴う税引前当期純利益243,147千円の計上があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果得られた資金は、6,452千円(前事業年度は59,202千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7,764千円等があったものの、投資有価証券の売却による収入15,400千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により支出した資金は、229,357千円(前事業年度は257,475千円の収入)となりました。これは主に自己株式の取得による支出200,079千円、配当金の支払額40,227千円によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、テレワーク、在宅学習の取り組みが拡大しており、eラーニング資料の作成や、ガイド音声の作成といった法人向け製品の需要拡大が見込まれます。また、外出自粛が長引くことにより、コンシューマー向けダウンロード製品の需要が拡大するものと予想しております。一方で、積極的な営業が困難になるため、ロイヤリティ、Custom Voice、基本ライセンスといった法人向け製品の売上が伸び悩むと予想しております。

当社は、当社の日本語音声合成エンジンと他社技術を連携した音声対話ソリューションの提供及び外国語対応を進めていくことにより、さらなる成長を目指し、研究開発、営業、製品開発、管理の体制を強化するために、積極的な採用活動を行ってまいります。

このような環境の中、翌事業年度（2021年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高840,000千円（前年同期比2.5%増）、営業利益280,000千円（同2.3%増）、経常利益280,000千円（同2.5%増）、当期純利益205,000千円（同18.8%増）を目指してまいります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	970,110	964,515
売掛金	130,749	159,769
仕掛品	1,118	-
原材料及び貯蔵品	647	1,397
前払費用	9,488	10,769
その他	3,342	1,419
流動資産合計	1,115,456	1,137,870
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	8,632	12,982
減価償却累計額	△2,452	△3,335
建物附属設備（純額）	6,180	9,647
工具、器具及び備品	9,442	11,978
減価償却累計額	△5,464	△7,717
工具、器具及び備品（純額）	3,977	4,261
リース資産	3,759	3,759
減価償却累計額	△877	△1,629
リース資産（純額）	2,882	2,130
有形固定資産合計	13,040	16,038
無形固定資産		
ソフトウェア	15,885	8,899
無形固定資産合計	15,885	8,899
投資その他の資産		
投資有価証券	50,790	5,656
長期前払費用	472	579
繰延税金資産	5,353	9,176
その他	10,977	10,927
投資その他の資産合計	67,595	26,339
固定資産合計	96,521	51,278
資産合計	1,211,977	1,189,149

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,717	13,767
リース債務	790	823
未払金	31,022	38,377
未払費用	10,608	7,626
未払法人税等	35,969	55,188
預り金	13,395	11,356
前受収益	10,390	11,234
流動負債合計	105,894	138,372
固定負債		
リース債務	2,499	1,676
長期前受収益	-	1,166
固定負債合計	2,499	2,842
負債合計	108,394	141,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,601	149,471
資本剰余金		
資本準備金	113,400	119,270
その他資本剰余金	84,855	84,855
資本剰余金合計	198,255	204,125
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	485	346
繰越利益剰余金	761,323	893,752
利益剰余金合計	761,809	894,099
自己株式	△82	△199,762
株主資本合計	1,103,583	1,047,934
純資産合計	1,103,583	1,047,934
負債純資産合計	1,211,977	1,189,149

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		
製品売上高	528,439	589,677
サービス収入	208,726	229,450
売上高合計	737,165	819,128
売上原価	160,245	153,209
売上総利益	576,920	665,919
販売費及び一般管理費	※1,※2 365,787	※1,※2 392,259
営業利益	211,133	273,659
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	9
講演料収入	195	89
補助金収入	3,342	-
営業外収益合計	3,545	99
営業外費用		
支払利息	152	120
為替差損	43	2
自己株式取得費用	-	399
株式交付費	2,922	-
株式公開費用	9,385	-
営業外費用合計	12,503	522
経常利益	202,175	273,236
特別利益		
投資有価証券売却益	-	15,399
特別利益合計	-	15,399
特別損失		
固定資産除却損	-	354
投資有価証券評価損	1,071	45,134
特別損失合計	1,071	45,488
税引前当期純利益	201,103	243,147
法人税、住民税及び事業税	51,885	74,391
法人税等調整額	△1,012	△3,822
法人税等合計	50,873	70,568
当期純利益	150,230	172,578

【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	15,425	6.5	5,733	2.2
II 労務費		124,786	52.6	147,760	56.6
III 経費		96,832	40.9	107,713	41.2
当期総製造費用		237,043	100.0	261,206	100.0
期首仕掛品たな卸高		1,450		1,118	
合計		238,494		262,325	
他勘定振替高	※2	77,130		109,116	
期末仕掛品たな卸高		1,118		—	
当期売上原価		160,245		153,209	

原価計算の方法

実際原価による個別原価計算であります。

(注) ※1. 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費 (千円)	8,214	7,667
外注加工費 (千円)	25,127	32,698
地代家賃 (千円)	7,485	9,259
業務委託費 (千円)	44,503	38,402

※2. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
研究開発費 (千円)	74,442	96,796
営業支援費 (千円)	2,600	12,132
その他 (千円)	87	187
合計 (千円)	77,130	109,116

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余 金合計			
					固定資産 圧縮 積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	43,801	13,600	26,565	40,165	588	610,990	611,578	△3,350	692,196	692,196
当期変動額										
新株の発行	94,300	94,300		94,300					188,600	188,600
新株の発行 (新株予約権の行使)	5,500	5,500		5,500					11,000	11,000
固定資産圧縮積立金の 取崩					△103	103	-		-	-
当期純利益						150,230	150,230		150,230	150,230
自己株式の取得								△82	△82	△82
自己株式の処分			58,290	58,290				3,350	61,640	61,640
当期変動額合計	99,800	99,800	58,290	158,090	△103	150,333	150,230	3,267	411,387	411,387
当期末残高	143,601	113,400	84,855	198,255	485	761,323	761,809	△82	1,103,583	1,103,583

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本									純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余 金合計			
					固定資産 圧縮 積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	143,601	113,400	84,855	198,255	485	761,323	761,809	△82	1,103,583	1,103,583
当期変動額										
新株の発行 (新株予約権の行使)	5,870	5,870		5,870					11,740	11,740
固定資産圧縮積立金の 取崩					△138	138	-		-	-
剰余金の配当						△40,287	△40,287		△40,287	△40,287
当期純利益						172,578	172,578		172,578	172,578
自己株式の取得								△199,680	△199,680	△199,680
当期変動額合計	5,870	5,870	-	5,870	△138	132,429	132,290	△199,680	△55,649	△55,649
当期末残高	149,471	119,270	84,855	204,125	346	893,752	894,099	△199,762	1,047,934	1,047,934

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	201,103	243,147
減価償却費	13,920	12,396
補助金収入	△3,342	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△15,399
投資有価証券評価損益(△は益)	1,071	45,134
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	152	120
株式交付費	2,922	-
固定資産除却損	-	354
売上債権の増減額(△は増加)	△39,277	△29,019
たな卸資産の増減額(△は増加)	286	368
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,285	10,049
未払金の増減額(△は減少)	△1,540	7,294
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	6,826	942
前受収益の増減額(△は減少)	△1,796	843
長期前受収益の増減額(△は減少)	△1,192	1,166
その他の増減額(△は減少)	6,730	△3,854
小計	178,571	273,534
利息及び配当金の受取額	8	9
利息の支払額	△152	△120
法人税等の支払額	△42,628	△56,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,800	217,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,278	△7,764
無形固定資産の取得による支出	△4,800	△999
投資有価証券の取得による支出	△50,790	-
投資有価証券の売却による収入	-	15,400
出資金の回収による収入	-	20
敷金及び保証金の差入による支出	△333	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,202	6,452
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	185,677	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11,000	11,740
自己株式の処分による収入	61,640	-
自己株式の取得による支出	△83	△200,079
リース債務の返済による支出	△758	△790
配当金の支払額	-	△40,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,475	△229,357
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	334,072	△5,595
現金及び現金同等物の期首残高	636,037	970,110
現金及び現金同等物の期末残高	970,110	964,515

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(損益計算書関係)

※1 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度48.6%、当事業年度38.7%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度51.4%、当事業年度61.3%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
役員報酬	47,400千円	47,100千円
給料及び手当	80,373	78,905
研究開発費	101,256	115,133
減価償却費	5,623	4,728

※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	101,256千円	115,133千円

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	法人向け製品	法人向けサービス	コンシューマー向け 製品	合計
外部顧客への売上高	423,959	208,726	104,479	737,165

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社NTTドコモ	167,238	音声合成事業
株式会社AHS	75,228	音声合成事業

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	法人向け製品	法人向けサービス	コンシューマー向け 製品	合計
外部顧客への売上高	499,337	229,450	90,339	819,128

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社NTTドコモ	165,215	音声合成事業
株式会社AHS	66,400	音声合成事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	219.14円	208.84円
1株当たり当期純利益	30.84円	34.12円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	29.50円	33.71円

(注) 1. 当社は、2018年6月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益（千円）	150,230	172,578
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	150,230	172,578
普通株式の期中平均株式数（千株）	4,871	5,058
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（千株）	221	61
（うち新株予約権（千株））	(221)	(61)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。